



千歳空港での出迎え、連隊長を始め隊員・家族が出迎えた。(写真右)



千歳空港で半年ぶりにお父さんと合い照れ笑い(写真左)



滝川駐屯地での出迎え、協力諸団体・家族の出迎えを受ける。(写真右)



新十津川自衛隊協力会女性部より寄贈された「のれん」シュバの湯は隊員の疲れを癒しています。



平成二十四年十二月五日、滝川から南スーダンに国際貢献活動として派遣されていた隊員たちが半年間の任務を終えて第一派(四十四名)が帰国した。南スーダンでは、平均気温四十度を超える環境の中、給水支援と環境整備(道路整備)の任務を完遂すると共に、現地住民とのふれ合いと文化交流等で派遣隊としての任務を完遂、胸を張り凱旋帰国、家族の元に帰ってきた。千歳空港では、首藤連隊長を始め多くの隊員や派遣隊員に到着した。滝川駐屯地の出迎え行事では、滝川地区連合会会長・前田市長を始めとする協力諸団体の方々も足下の悪い中、派遣隊員の労をねぎらった。また、第二派は、十二月十九日に帰国予定である。

南スーダン派遣隊 任務を終え帰国



ときわ

発行所
隊友会滝川支部
滝川市東町2丁目13-14
TEL 22-0985
印刷所
広小島印刷株式会社



滝川自衛隊協力会青年部より寄贈された「かき氷器」で現地市民と交流を深めた。(派遣隊員たちも癒された)



派遣隊員の活力の源である「食事」を作る炊事班の隊員たち長い海外生活では、日本人なら、やはり日本食が一番!